

事業名：養育支援家庭訪問事業

子ども家庭課 児童母子係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	03 子育て環境の充実								
基本事業	01 地域子育て支援の充実								
開始年度	平成23年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
養育支援が特に必要とされる家庭	
手段（事務事業の内容、やり方）	
関係機関等の連絡等により、養育支援が特に必要とされる家庭に対して、保健師やヘルパー等が家庭を訪問し、養育に関する支援を行う。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
当該家庭を適切な養育状態にする。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	養育支援等が必要としている家庭（把握困難）	家庭	0	0	0	0
対象指標2						
活動指標1	養護支援家庭訪問ケース会議数	回	2	4	6	7
活動指標2						
成果指標1	育児支援に関する専門的支援数	件	117	133	185	150
成果指標2	育児・家事支援数	件	6	52	36	31
事業費(A)		千円	21	202	164	453
正職員人件費(B)		千円	1,204	1,202	1,172	1,174
総事業費(A+B)		千円	1,225	1,404	1,336	1,627

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	関係機関等の連絡等により、養育支援が特に必要とされる家庭に対して、保健師やヘルパー等が家庭を訪問し、養育に関する支援を行った。	ファイル等消耗品費 9千円 支援員派遣委託料 155千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 育児ストレス、産後うつ病、育児ノイローゼ等の問題によって、子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭や、様々な原因で養育支援が必要となっている家庭に対する行政の支援は養育上の諸問題の解決、軽減を図る為に妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 育児・家事の援助又は保健師等による具体的な養育に関する指導助言等を訪問により実施する事は貢献が大きい。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 早急に関係機関の調整のもとに支援出来る。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 指導・助言等とともに、育児・家庭支援は今後も必要となり、より効果的支援が可能である。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠 関係機関等とのケース会議により支援対象者の判断をしている。計画的に地域のサービスを組み合わせ支援している。